



次は、何を咲かそう。

北竜町
HOKURYU

住民説明会

(仮称) わくわく未来創造館・ノノの森説明資料

令和8年3月3日（火）

【目 次】

- ① わくわく未来創造館整備の概要について
- ② わくわく未来創造館整備計画（案）について
- ③ ノノの森整備計画（案）について

「わくわく未来創造館（仮称）」の整備について

これまでの経緯・関連する取組と今後の予定

R6年12月

- これまでの議論や、関係者等の声を踏まえ「ひまわりの里基本計画2024」を策定
- 観光交流センター（仮称）の新築
- 施設に必要な機能として「飲食」「物販」「快適な居場所」「一年を通じた体験」「民間や専門人材との交流・創造ラボ」

- ✓ ひまわりの里活性協議会で説明・合意
- ✓ 町議会への説明

R7年3月～4月

- 国の新しい交付金（第2世代地方創生推進付金）事業に採択された
- 国の評価ポイントは、ひまわりホールディングスの考え方や、関係人口と協働しながら、子どもも大人もチャレンジできる場や、しくみづくりなど

- ✓ 地方創生総合戦略の策定・明記
- ✓ 町議会への説明・議決

R7年5月～8月

- 令和9～10年度の整備（工事）に向けて、「基本設計」に取りかかった
- 職員プロジェクトチームを立ち上げて、施設の機能などの検討を始めた
- 合わせて、町内の高校生や、関係者などの意見を聞く、機会を設けた
- 従来の観光センターの機能に留まらないため、一旦、施設の名称を「わくわく未来創造館（仮称）」とした

R7年9月～R8年1月 ■収益モデル検討プロジェクト

- 「基本設計」が、1月に完了した
- 民間マーケッターのアドバイスのもとで、「ノノの森」を活用した、収益事業を検討している
- 豊田通商社員と町民らが協働で、“冬のひまわりの里を活用した事業案”を企画提案した
- Creemaと連携したクラフトマーケット開催など、集客やラボ機能の可能性を検証している

- ✓ ひまわりの里活性協議会で設計を説明・了解

R8年2月～R8年度

- | | |
|---------|---|
| 実施設計 | ■ わくわく未来創造館新築整備
■ ノノの森など周辺土木整備 |
| その他検討事項 | ■ 通年利用に向けた事業やビジネスプラン
■ ラボ機能、関係人口入口機能の深掘り
■ 運営主体・収益のしくみ など |

- ✓ 町民説明会の開催
- ✓ 町議会への説明
- ✓ ひまわりの里活性化協議会で説明・検討

R9～R10年度

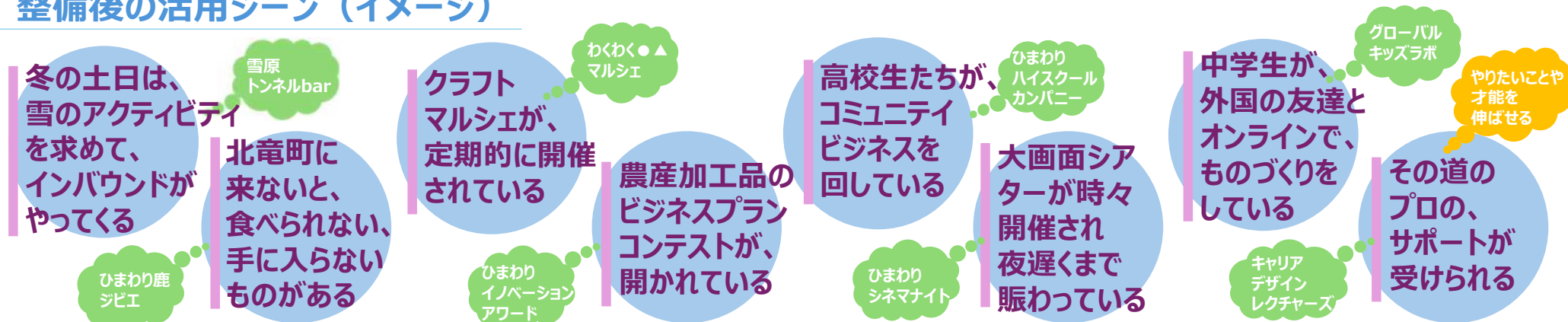
建築工事
土木工事

運営主体形成
ラボ・収益
事業試行

施設の概要・特徴など

- 建物の配置等は、別添図面（位置図、平面図、立面図、パース図）のとおり。
- 国の交付金採択上の必須機能は、飲食・物販スペース、子どもも大人もチャレンジできる場（例：チャレンジキッチン、商品試作、外部専門家等との協働・学びなど）、デジタルを使った交流・表現・活躍の場、快適な居場所となるスペース・空間など。
- ひまわりまつり以外でも、イベント、ワークショップ、起業に向けた学び・テストマーケティング、体験の場などとして、通年利用していく。

3 整備後の活用シーン（イメージ）



4 収益化モデル検討プロジェクト

ノノの森を舞台に、唯一無二のビジネスプランをつくるプロジェクト

これまでの概要

町若手職員らが、プロのマーケッターのアドバイスを受けながら、AIを駆使し、ひとり10個以上のプランを出し合っ、アイデアの発散から、絞り込みを行おうとしている。

これからの方向性

8月頃までにプランを取りまとめ、テストマーケティングを実施、その後、課題整理・改善を行う。ノノの森の整備までに、継続的に試行を繰り返し、実装につなげていく。



冬のひまわりの里を活用した事業を豊田通商社員と町民らが企画

これまでの概要

冬のひまわりの里に、人を呼び込む事業をつくるために、豊田通商社員が来訪し、若手農家や経営者、地域おこし協力隊、町職員らと一緒に考え、企画提案を行った。

これからの方向性

「気球」「森のトレッキング」「フードマルシェ」「企業研修」の4案が提案された。初期投資が少ない「森のトレッキング」を、試験的に実施するために、プランを練り上げていく。



Creemaと連携し、ものづくりや地域資源の可能性を探っている

これまでの概要

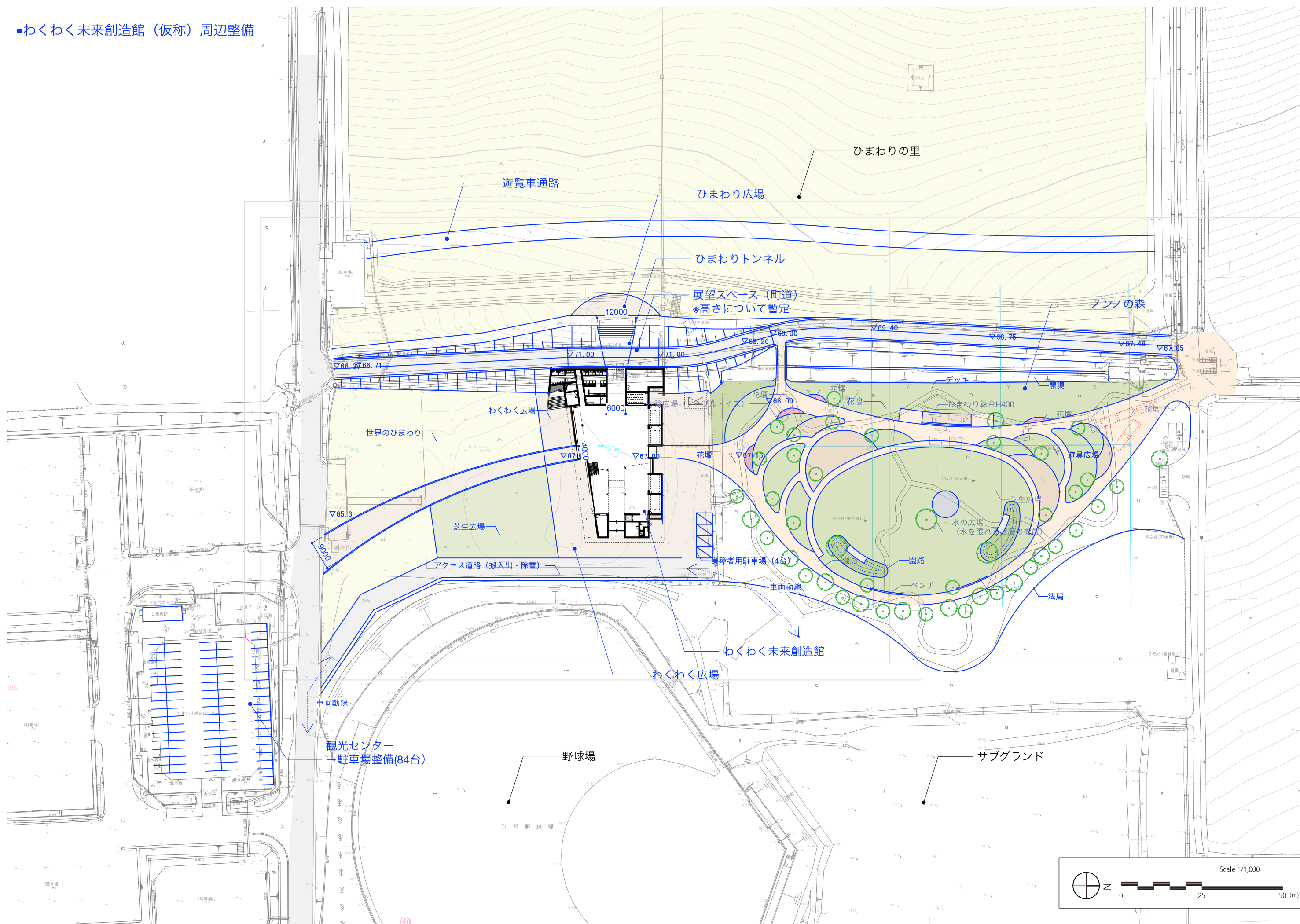
公民館で開催した「クラフトマルシェ」には、多くの集客があり、東京ビックサイトのイベントでは、町内作家の作品の販売や、地域資源の活用に、可能性が見出された。

これからの方向性

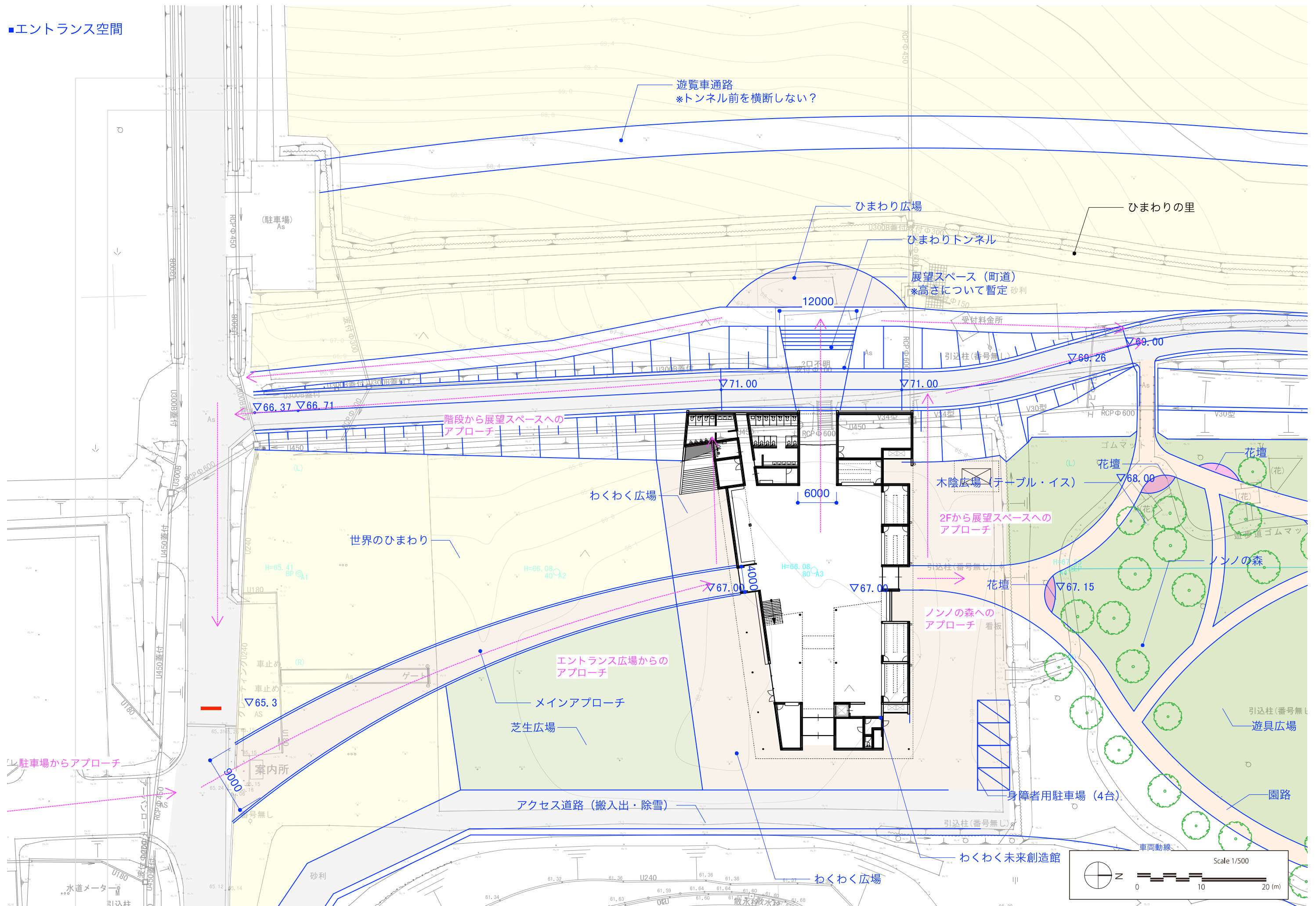
町民の、ものづくり活動を促す（裾野・販路の拡大、スキルの向上、機会の提供等）とともに、地域資源（鹿皮・脂等）の高付加価値化・ブランド化に、取り組んでいく。



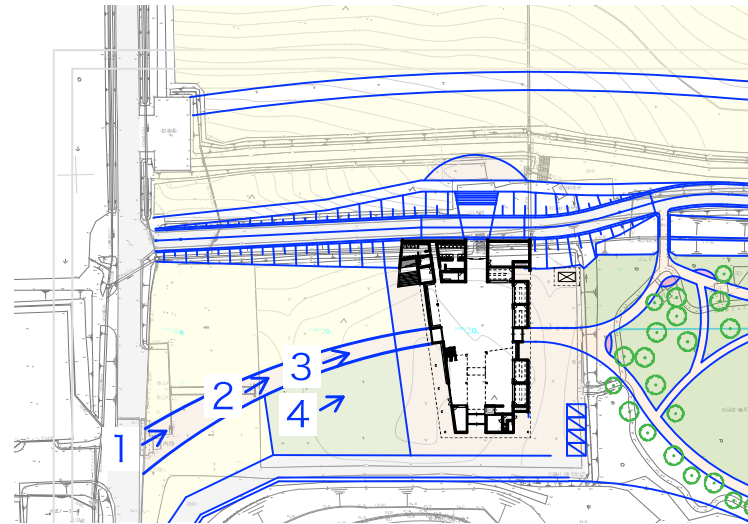
■わくわく未来創造館（仮称）周辺整備



■エントランス空間



■エントランス空間・イメージVR



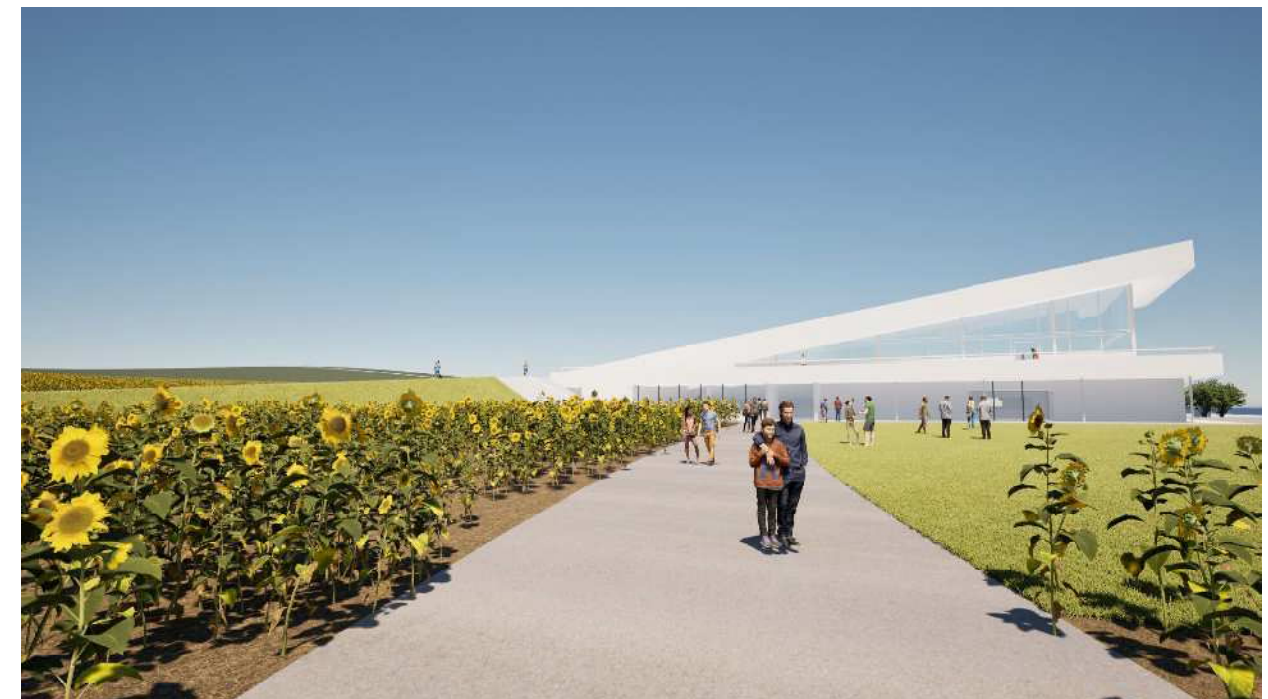
視点1：交差点入口付近からの見え方



視点2：エントランス・アプローチからの見え方1



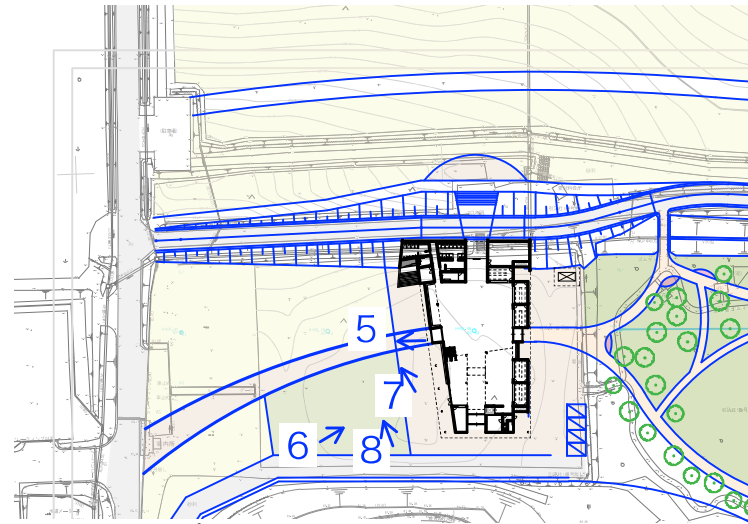
視点3：エントランス・アプローチからの見え方2



視点4：芝生広場付近からの見え方



■エントランス空間・イメージVR



視点5：建築からエントランス・アプローチの見え方



視点6：芝生広場東側から建築の見え方



視点7：建築前庭空間からひまわり畑の見え方

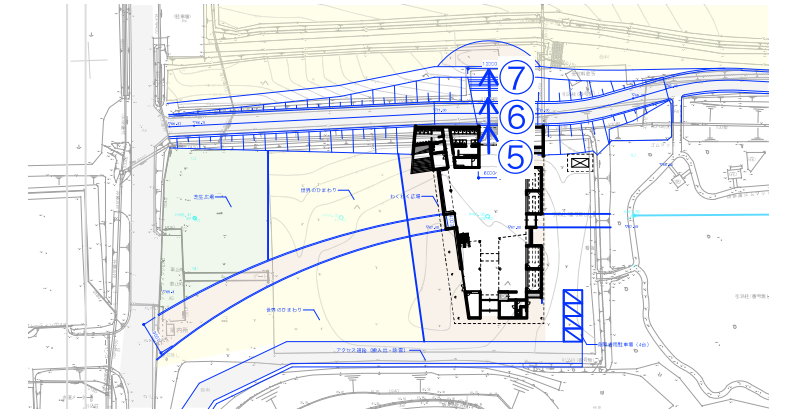


視点8：芝生広場からひまわり畑の見え方



■イメージパース

⑤トンネル入口から見たイメージ



⑥トンネル中間部から見たイメージ



⑦トンネル出口から見たイメージ



※階段及びトンネル形状は検討中のものであり変更となる可能性があります

俯瞰イメージ



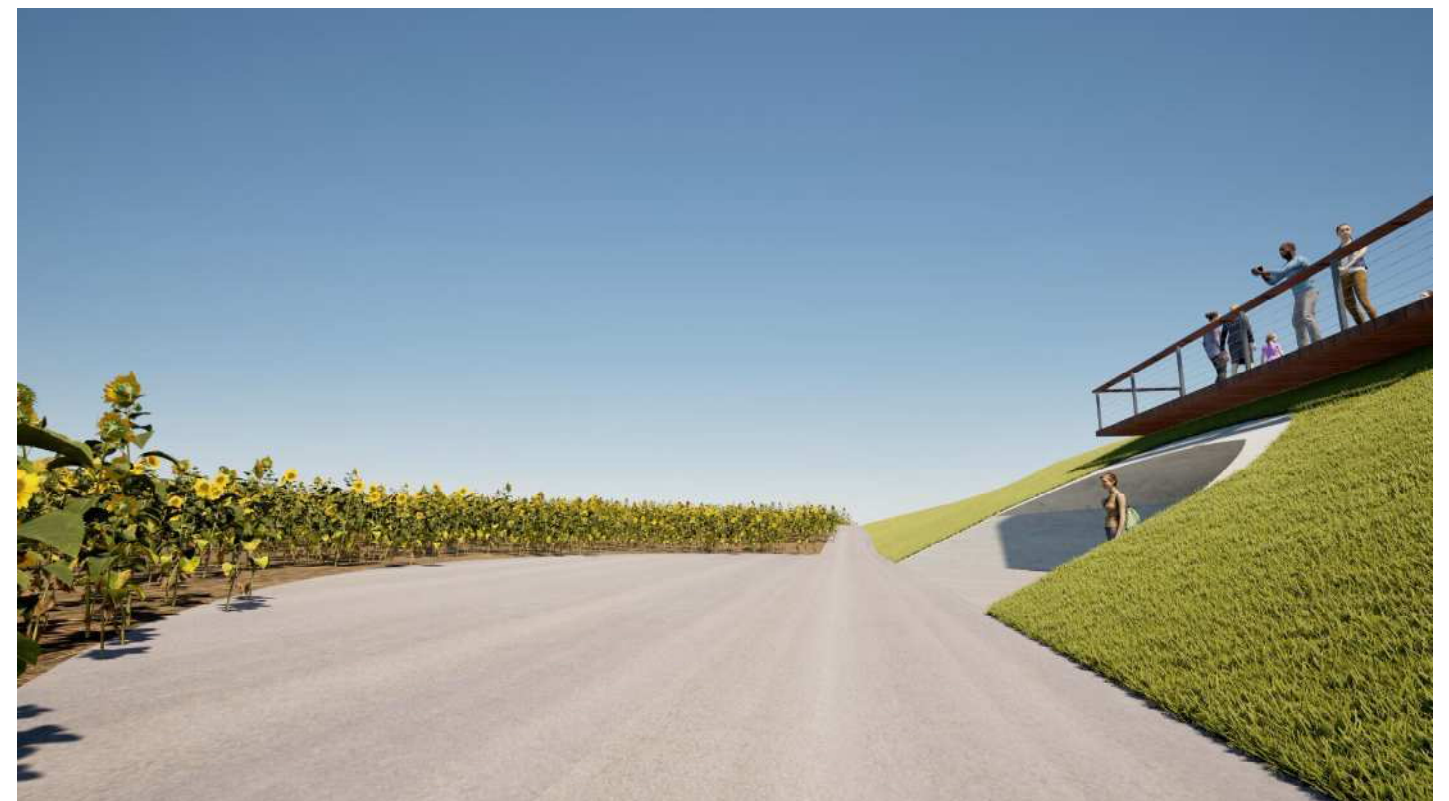
ひまわり広場からトンネルを見た視点（正面）



ひまわり広場からトンネルを見た視点（斜め1）



ひまわり広場からトンネルを見た視点（斜め2）



わくわく未来創造館（仮称） 検討資料

施設計画の考え方

- ・ ひまわりまつりの時だけでなく、通年での利用を想定
- ・ 町内の方と町外の方が出会い、学び、新たな創造が生まれる場
ex) イベントやセミナーの開催、新しいチャレンジの機会など

1.配置計画

- ・ 施設の位置は昨年度の基本計画を踏襲し、ノンノの森に近い側に配置。
- ・ 盛り土道路と一体的なデザインとし、ひまわり畑へのトンネルや、道路から屋上へのアクセスを確保

2.部屋の配置

- ・ 1階は主に飲食物販やイベントで活用できる広いスペースを配置
- ・ 2階は落ち着いた滞在スペースや小規模な活動のための部屋（LAB）を配置

ブースの考え方

1) ブースの数

なるべくフレキシブルに使える施設とするため、
厨房機器が必要な飲食販売についてはブースを配置し、
物販については1室空間に台を置いて販売（ブースなし）

➤ 飲食用ブースを5つ配置
（外部からの直接搬入可）

2) ブースのサイズ

<現観光センターの1ブースの基本サイズ>

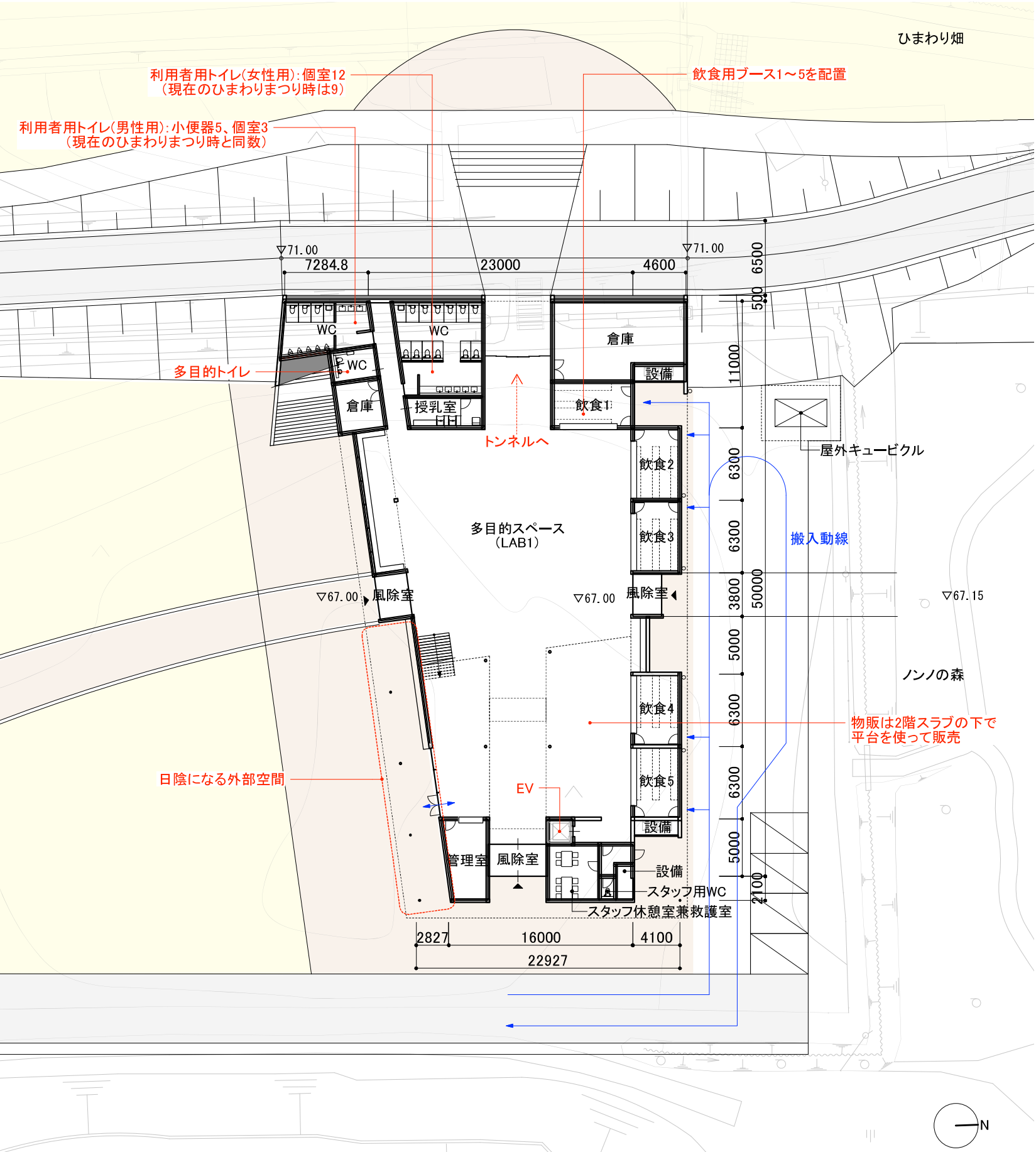
倉庫 8
約17.5m²

<計画の飲食用ブースの基本サイズ>

約26m²

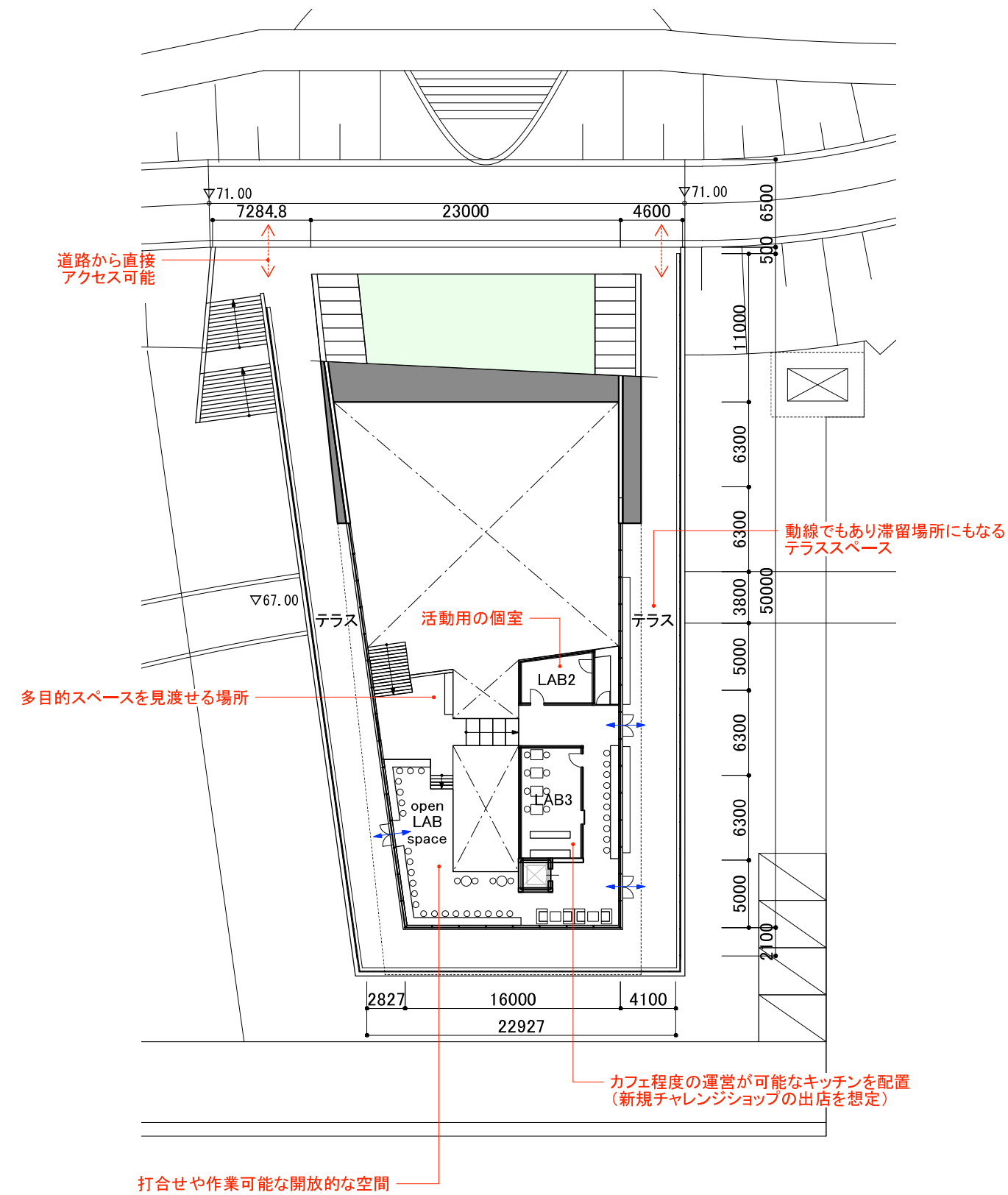
➤ 約1.5倍の面積

1階平面図 S=1/400

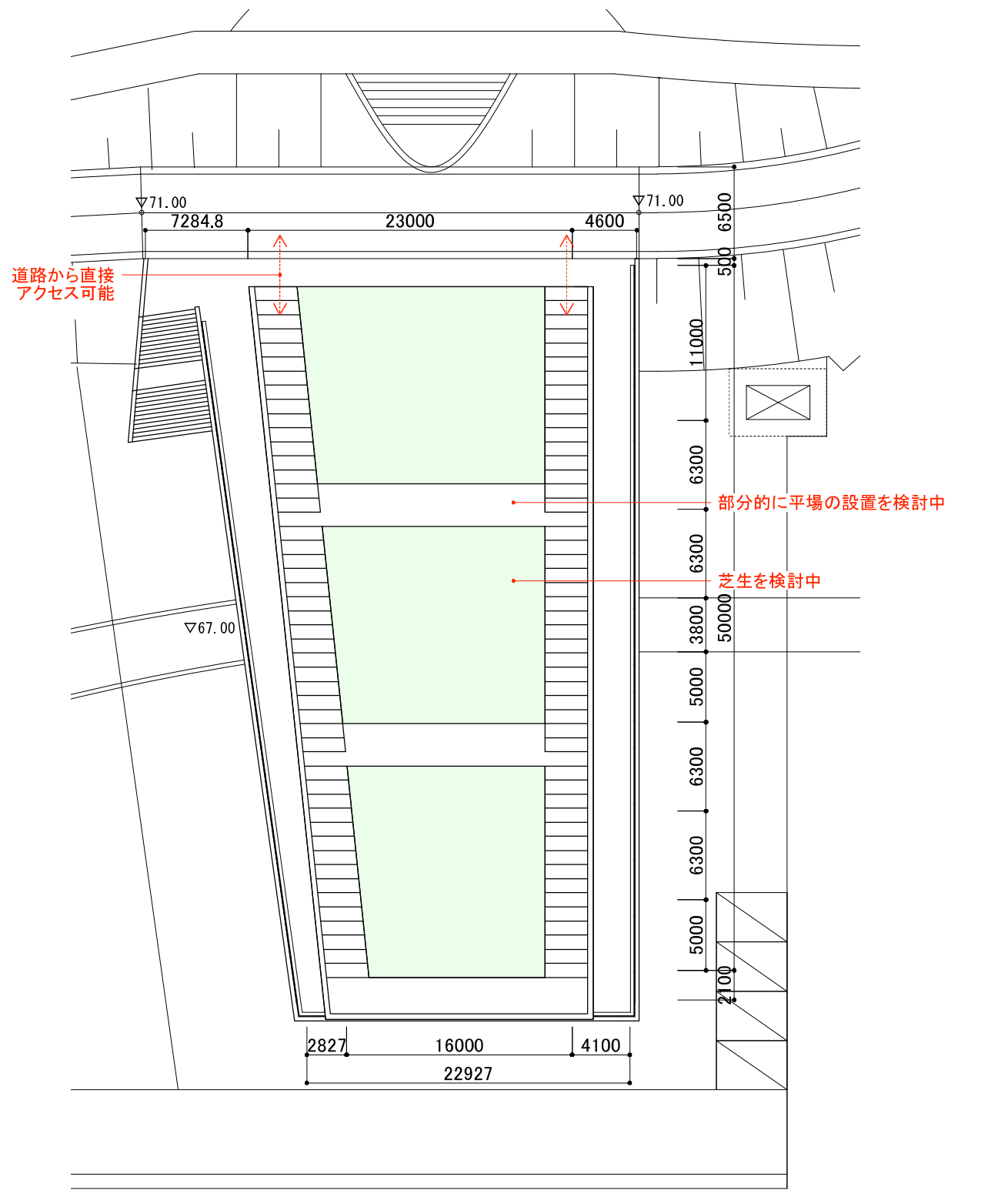


※寸法や柱位置等は今後の検討に合わせて調整の可能性があります。

各階平面図 S=1/400

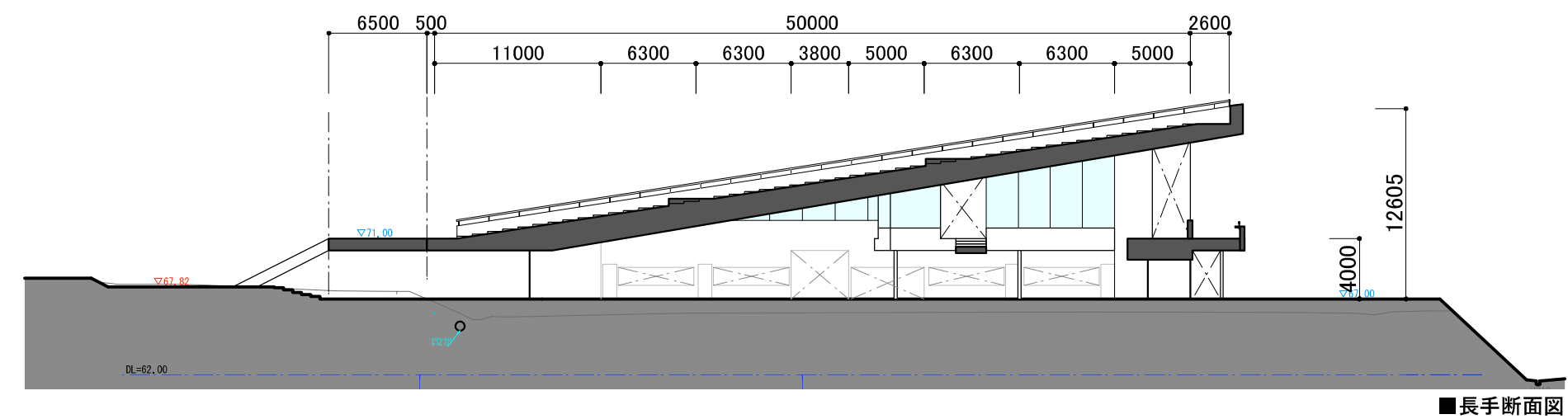
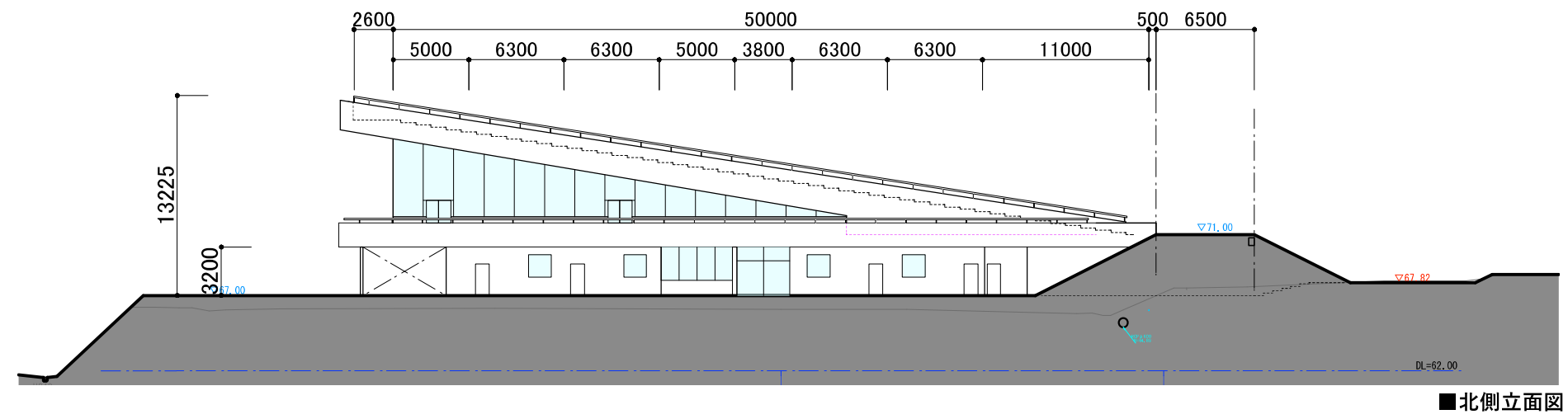
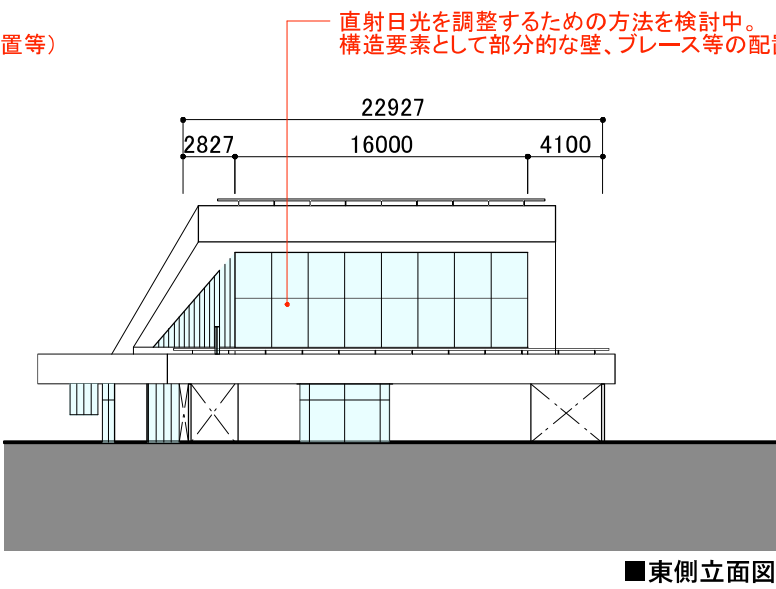
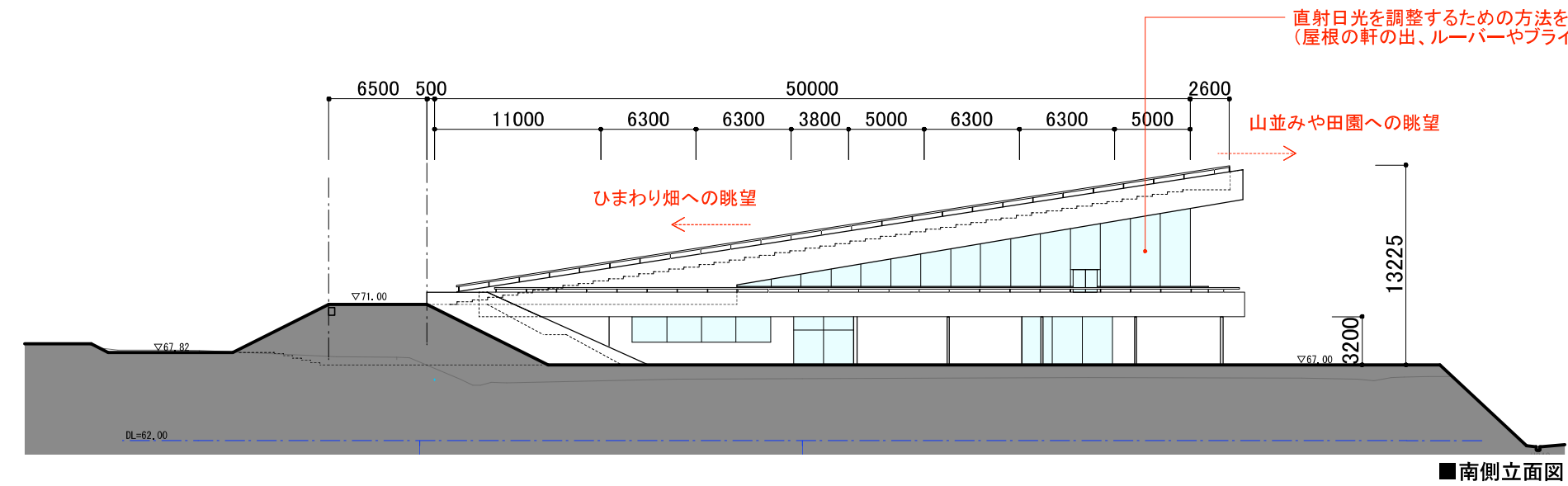


■2階平面図



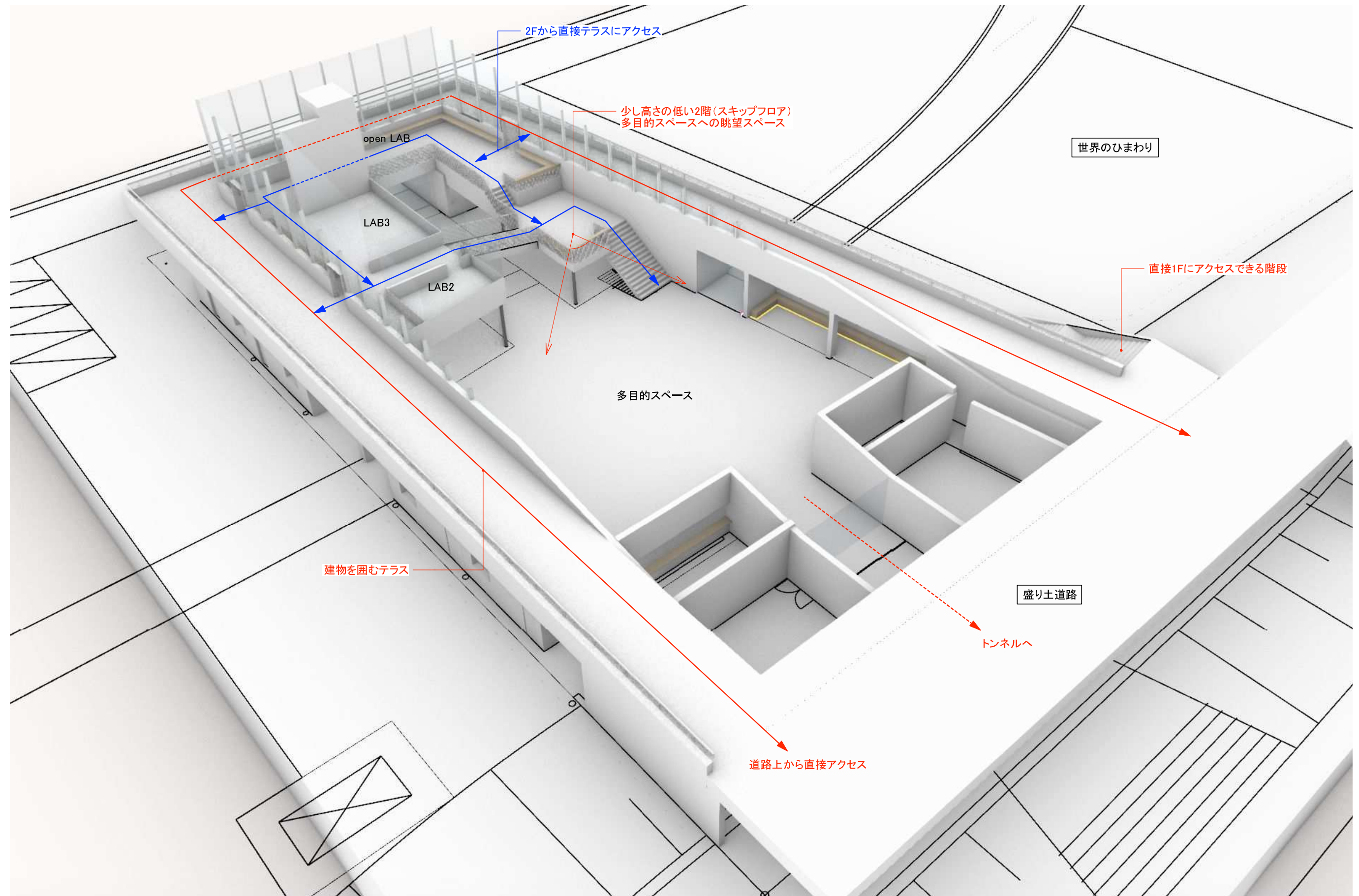
■屋根伏図



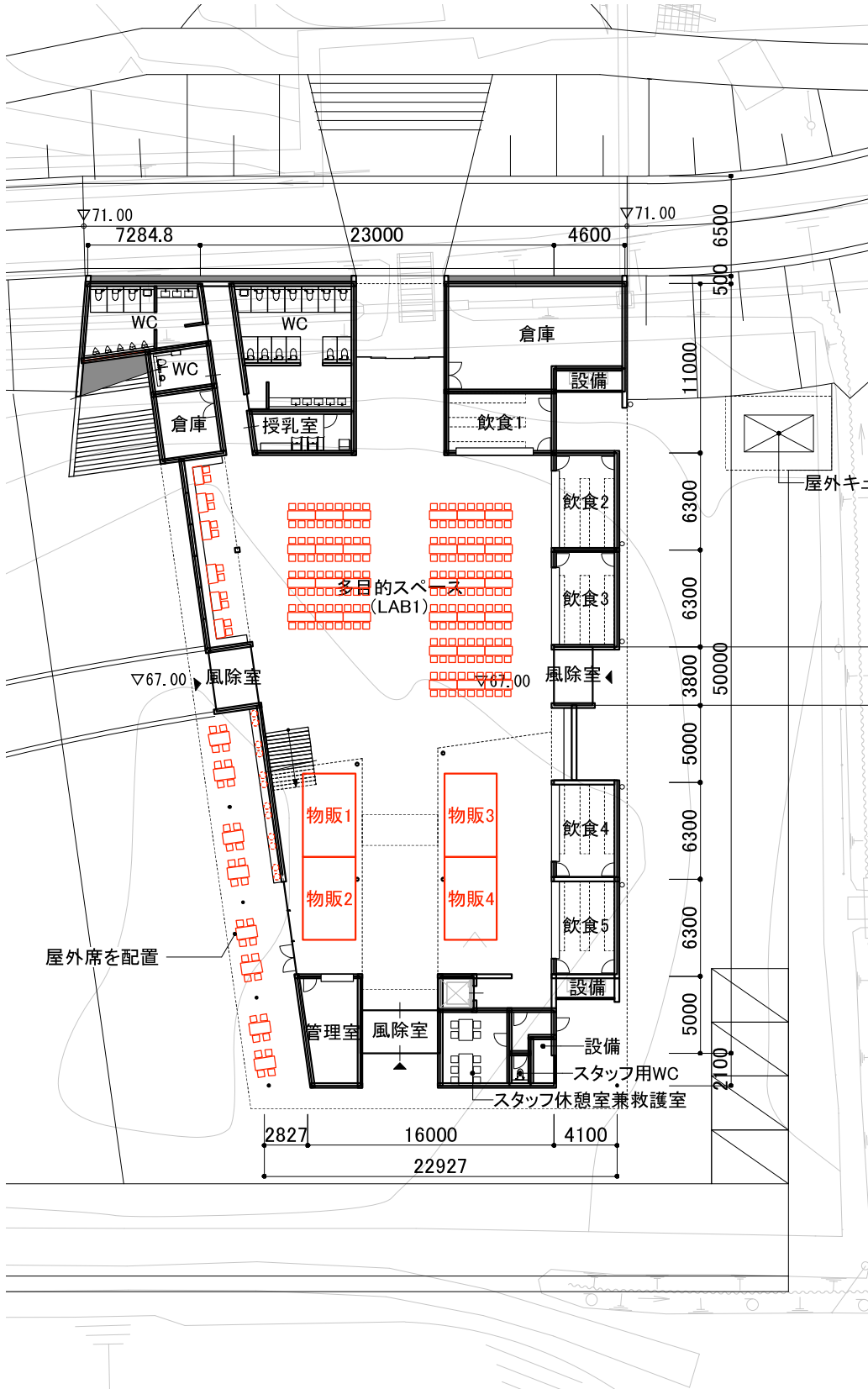
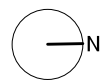


空間構成

建物内外に色々なアクセス動線を設けることで、単純な屋根形状の中に多様な居場所を確保。

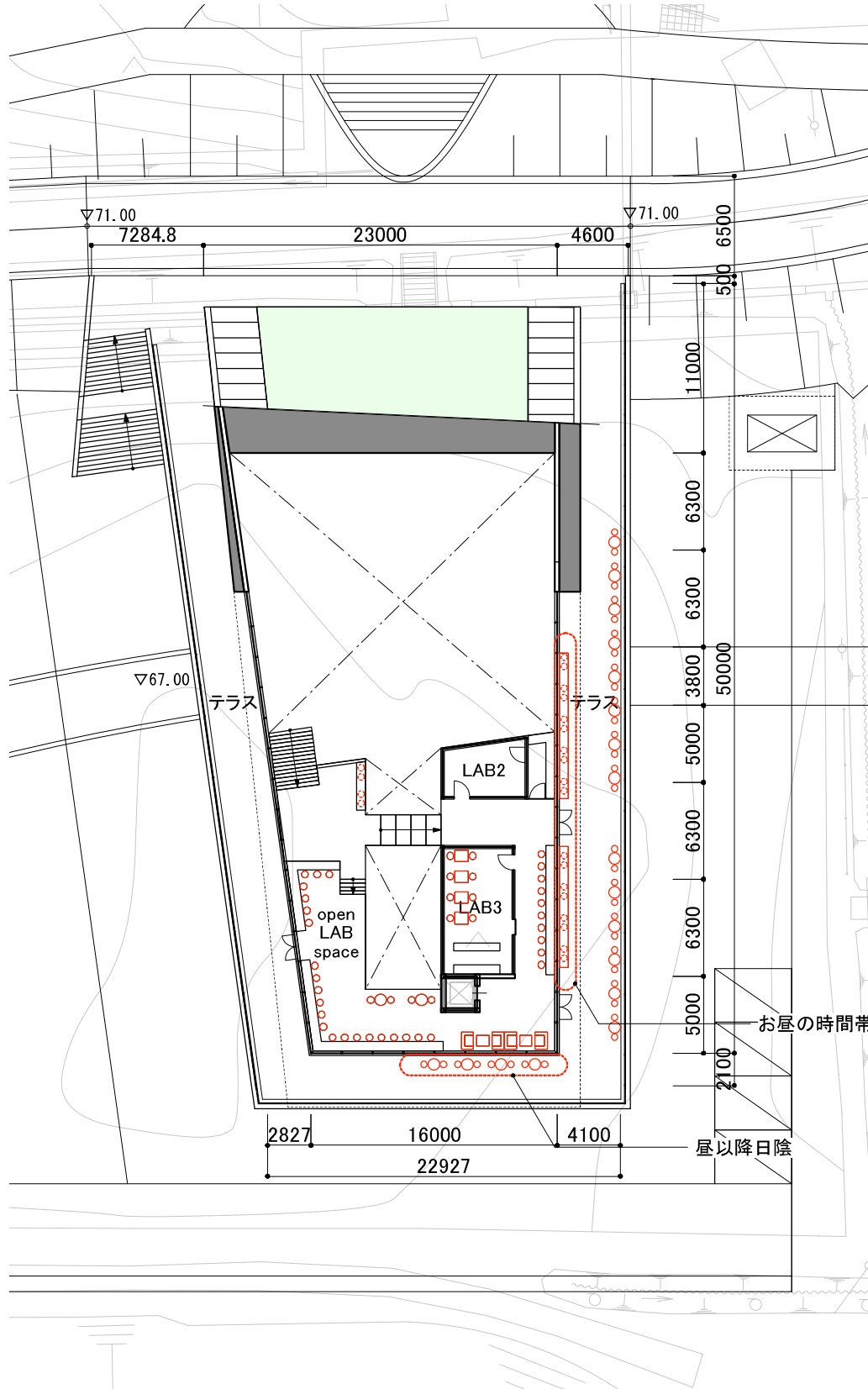


ひまわりまつり時の飲食座席



■1階平面図

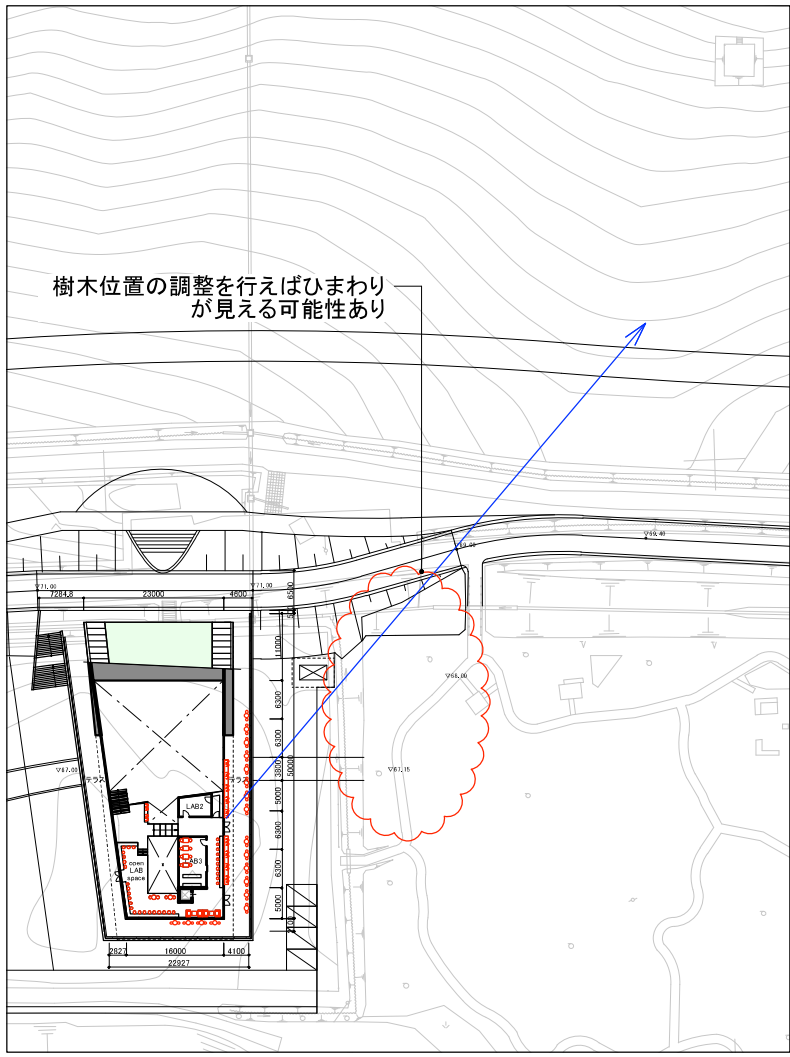
仮に図面のように配置したとすると248席
(室内で204席)



■2階平面図

仮に図面のように配置したとするとテラス部分で56席、2階室内は約50席

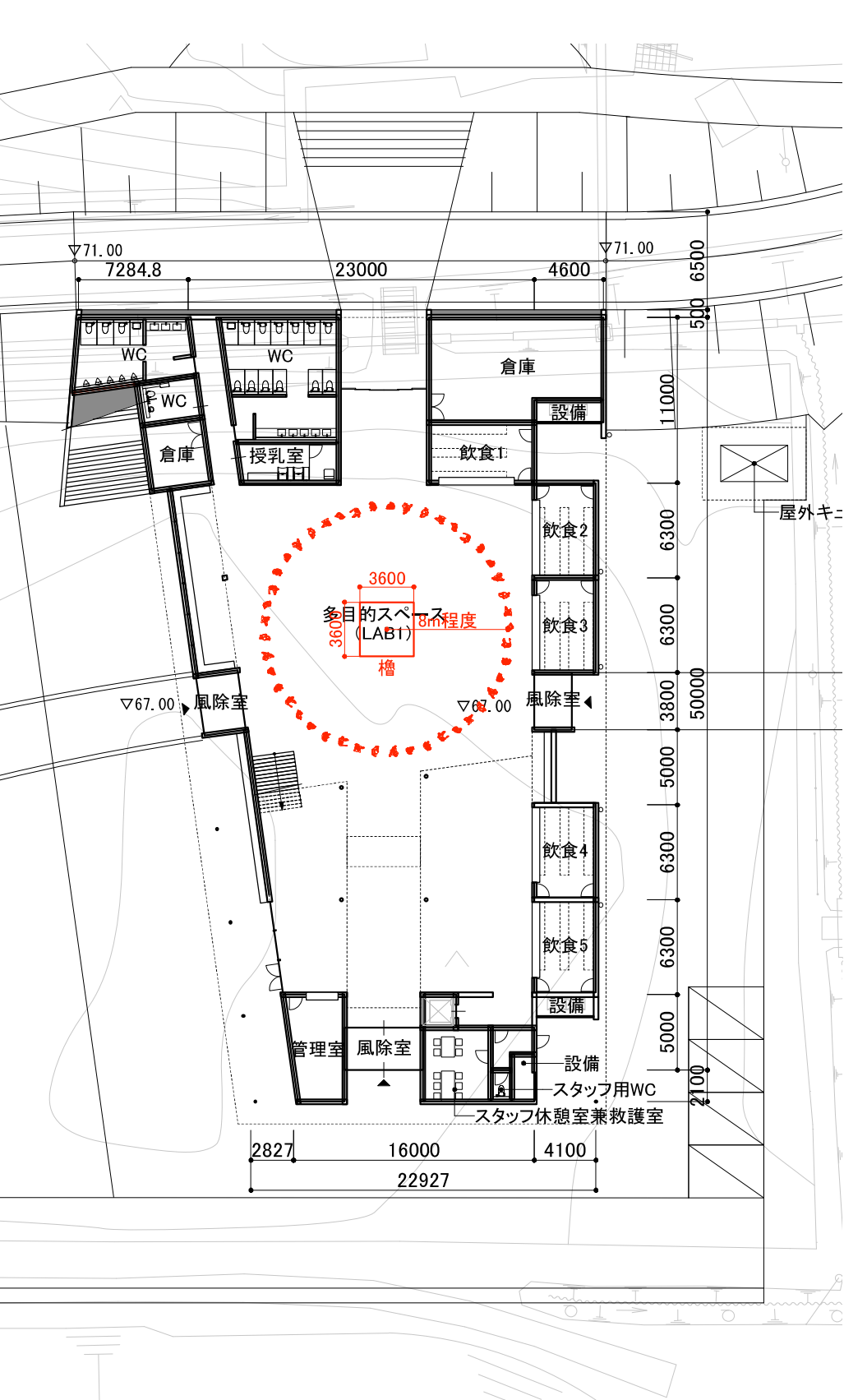
合計すると約350席程度



お昼の時間帯はある程度日陰になる

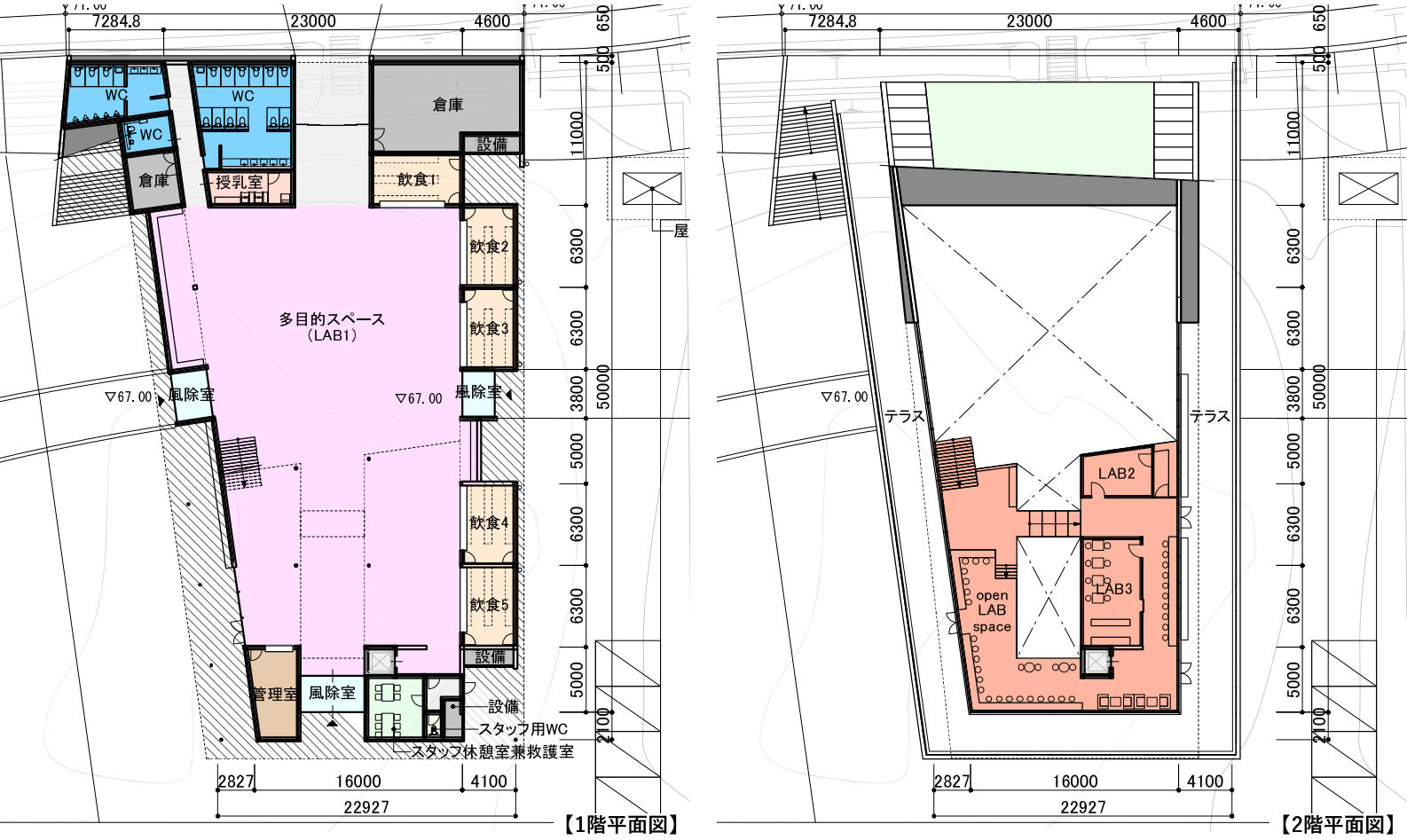
昼以降日陰

盆踊りを行う場合



■1階平面図

施設規模



床面積表

室		現在の観光センター（1F部分のみ）		2024年度基本計画案		基本設計案	
		面積(m2)	備考	面積(m2)	備考	面積(m2)	備考
サービス エリア	LABスペース	-		-		20.2	LAB2
		-		-		39.5	LAB3
		-		-		217.9	2階（LAB2、3以外）
	店舗ブース	246.9	17.49m2×10+18.0m2×4	182.1	18m2/箇所が基本×10ブース	131.3	約26m2/箇所×5ブース
	飲食等スペース	890.4	アリーナ部分	648.5	1階農作物販売スペース含む	713.1	1階多目的スペース
	利用者用便所	-		178.5	2階	0.0	
	授乳室	17.5	男子：小2/大1、女子：大2	44.0		107.2	
バック ヤード	管理入室	9.0		17.6		17.9	
	管理入室	28.1		10.0		25.6	
	スタッフ休憩室	28.1		18.5		22.1	
	スタッフ用便所	0.0		3.5		2.9	
	救護室	0.0		13.6		0.0	スタッフ休憩室で兼ねる
	設備室	0.0		50.1	電気室、設備スペース等	17.8	キュービクルは屋外設置
その他	倉庫	9.0		10.1	収納スペース	91.9	
	風除室	17.5		17.7		35.3	
	廊下	0.0		99.8		104.4	エレベーター含む
合計	ドライエリア	0.0		12.3		0.0	
		1,246.5		1306.4		1547.0	
外部屋根下スペース						298.2	屋外階段含む



アングル 1：南東面外観

※各部の仕上材料、色等は検討中で CG には未反映



アングル 3：施設に入口付近（南西側から）の内観



アングル 5：トンネル側（西側）を向いた時の内観

構造に必要な柱や部分的な壁、斜材等の配置を検討中



アングル 6：2 階に上がった時の内観

直射日光をコントロールするためのルーバー、壁、庇等を検討中
構造に必要な柱位置を検討中



アングル 7 : LAB3 から南側を向いた時の内観



アングル 8 : Open LAB スペース（南側）の様子

構造に必要な柱や部分的な壁、斜材等の配置を検討中
通風のための開口部を検討中

直射日光をコントロールするためのルーバー、壁、庇等を検討中



アングル 9 : Open LAB スペース（東側先端）の様子



アングル 10：南側テラスの様子



アングル 11：屋上の様子

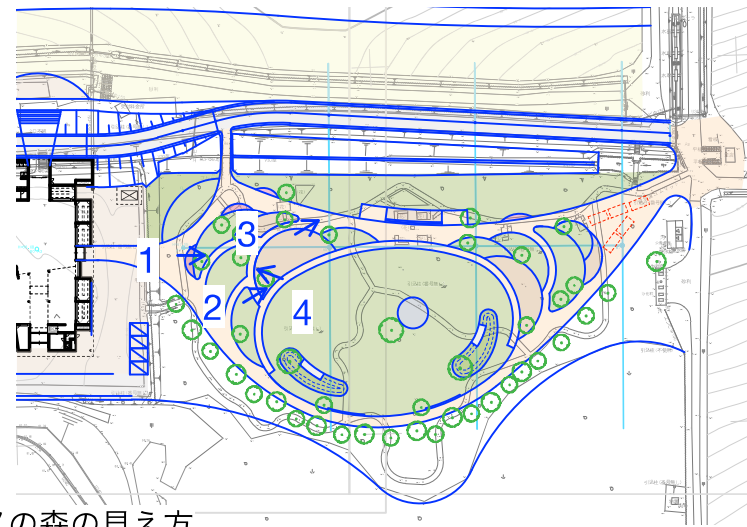
- ・ 大小様々な場所を作ること、多様な使い方ができるような構成とする
(一体で使うことも個別で使うことも可能)
- ・ 花のような形状とすることで伸びやかな景観を創出する
- ・ 広場を中心としたデザインにより多様な使い方を促す
- ・ ひまわり縁台など、ひまわりへの眺望は確保する



俯瞰イメージ



VR(2)



視点1：わくわく未来創造館からノンノの森の見える方



視点2：園路の見える方



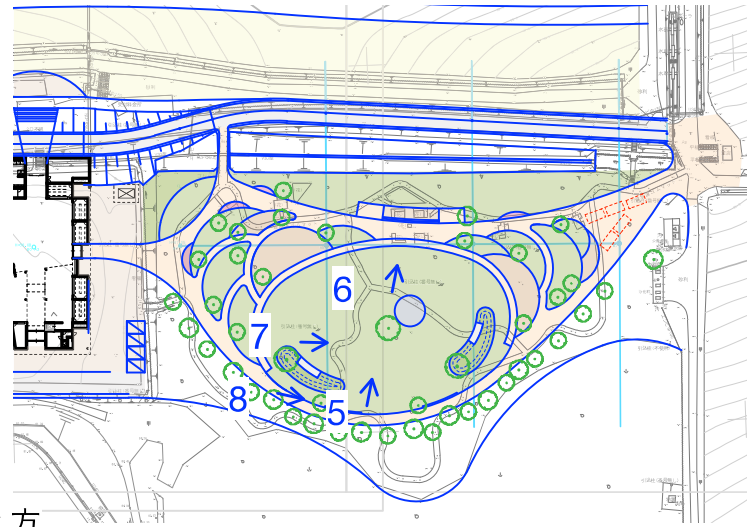
視点3：園路からわくわく未来創造館の見える方



視点4：園路からひまわりデッキの見える方



VR(3)



視点5：芝生広場からひまわり畑の見える方



視点6：ひまわりデッキの見える方



視点7：芝生広場全体の見える方



視点8：南側園路の見える方



■貸し出しによる遊びの例

レンタルグッズカート

@グラングリーン（大阪）

- ・固定の遊具を置くのではなく、貸し出しボックスのようなものが公園の近くにあり、有料のものと無料のものがある。
- ・レンタルグッズカートから無料のものは自由に持ち出しができる。
- ・有料のものはインフォメーションカウンターにて貸し出しを行なっている。（今回の場合で言うとわくわく未来創造館が考えられる）



モルック

木製のピンを倒して得点を競うゲームです。
料金：500円/日（税込）



レジャーシート

うめきた公園オリジナルデザインのレジャーシートです。
料金：300円/日（税込）



バドミントン

風があっても遊べる屋外用バドミントンです。
料金：500円/日（税込）



スパイクボール

トランポリンのような台にボールを打ち合います。
料金：500円/日（税込）



LEDランタン

優しく手元を照らしてくれるLEDのランタンです。
料金：500円/日（税込）

無料アイテム



レジャーシート



チェア



ボウリング



けん玉

プレイカー

@世田谷区、瀬戸内市

- ・遊具を詰め込んだプレイカーが公園にくることで、通常には無い遊びが体験できる。
- ・昔からあるような遊びから、自由なお絵描き、公園等では禁止されがちな火を使った遊びができる。
- ・プレイリーダーが使い方をレクチャーし、一緒に遊ぶことで安全な運用を可能としている。



「プレイカー」の遊び道具一例



■イベント時の利用イメージ

以下のレイアウトで49+36+35+17=137セットの
テーブルとイスがイベント時に配置可能
テーブル：137基
イス：822席

